

子育て 8つの指針

令和6年4月 改訂

木曽岬町教育委員会
木曽岬町子ども・健康課

「子育て 8つの指針」の活用について

家庭教育は、全ての教育の原点として、子どもが基本的な生活習慣や人との関わり方、社会性や思いやり等を身につけ、人として成長するうえで重要な役割を果たすものです。

「子育て8つの指針」は、ご家庭で子育てしていく上で大切にしていきたいことを発達段階に応じて示したものです。家庭や地域と園・学校が協働して、子育てや家庭教育を進めるための参考として本指針をご活用ください。



No.	項 目	こども園	小学校		中学校
			低学年(1～3年)	高学年(4～6年)	
①	安心感・信頼感	・しっかりと抱きしめ、目を見てやさしく語りかけましょう。	・しっかりと抱きしめ、かけがえのない大切な存在であることを言葉や態度で伝えましょう。	・かけがえのない大切な存在であることを言葉や態度で伝え、任せられるところは任せましょう。	・過干渉・過保護にならない程度に、目配りを怠らず、変化があれば声をかけ、かけがえのない大切な存在であることを伝えていきましょう。
②	聞くこと	・手をとめ、目を見て、じっくりと子どもの話を聞く機会をもちましょう。	・手をとめ、目を見て、じっくりと子どもの話を聞きましょう。	・じっくりと話を聞くことを大切にしながら、子どもと意見のやりとりをしていきましょう。	・じっくりと話を聞くことを大切にしながら、自らの生き方を語っていきましょう。
③	あいさつ・礼儀	・自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言いましょう。 ・場に応じたあいさつやお礼が言えたときはほめましょう。	・自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言いましょう。 ・場に応じたあいさつやお礼が言えたときはほめましょう。	・自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言いましょう。 ・社会の中におけるあいさつの大切さを伝えましょう。	・自らが手本となり、あいさつや「ありがとう」を言いましょう。 ・社会の中におけるあいさつの大切さを伝えましょう。
④	自己抑制	・きまりを守る体験をさせ、できたときはほめましょう。	・目標に向かってやり抜く体験をさせ、できたときはほめましょう。 ・テレビやゲームは時間を決めてやらせるようにしましょう。	・自分や他の人のために、時には自己抑制することが大切であることを教えましょう。 ・テレビやゲームは時間を決めてやらせ、その約束をしっかりと守らせましょう。	・自分や他の人のために、時には自己抑制し、協力することが大切であることを教えましょう。 ・テレビやゲームは時間を決めて守らせましょう。また、SNSを使用する場合もルールを話し合い、守らせましょう。
⑤	後かたづけ お手伝い 家事分担	・後かたづけは最後までできるように、見届けましょう。	・後かたづけはしっかりとさせ、できたときはほめましょう。	・食後の後かたづけなど、家族の中で決まった役割を分担をさせていきましょう。	・決まった家事分担を担わせ、家族の一員としての自覚をもたせましょう。
⑥	生活リズム	・決まった時間に起き、朝食を食べ、夜は早く寝るように、生活リズムを整えましょう。	・早寝、早起き、朝ごはん ・9時までには寝かせましょう。	・早寝、早起き、朝ごはん ・10時までには寝かせましょう。	・早寝、早起き、朝ごはん ・翌日に疲れが残らないように睡眠時間を確保させましょう。
⑦	読書	・少しの時間でも絵本の読み聞かせをしましょう。	・たくさんの本に出合わせる機会を確保しましょう。	・本の世界の“体験”を通して、豊かな心を育てましょう。	・読書のジャンルを広げるよう声かけし、多面的な見方・考え方を育てましょう。
⑧	家庭学習		・宿題は、毎日決まった時間に決まった場所でさせましょう。	・宿題の取組を確認し、宿題以外にもその日の復習をさせていきましょう。	・宿題の取組を確認し、その日の復習と次の日の予習をさせていきましょう。